

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

7月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告はありませんでした。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数1509件（前月比0.67、前年同月比0.63）でした。前月比、前年同月比ともに減少しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数24件（前月比6.0、前年同月比0.1）でした。前月4件からは急増していますが、例年と同じ低水準が続いています。人吉から9件（定点あたり3.0）、菊池7件（同1.40）、宇城5件（同1.25）の報告です。半数強の7地区より報告はありませんでした。年齢は0ヶ月から6か月と1歳で17件と多くを占めています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数71件（前月比1.1、前年同月比0.7）と一昨年に似た動きです。山鹿からの報告が39件（定点あたり19.50）と二桁ありますが、他の地区は、多いところでも、熊本19件（同1.19）を除き1桁台の報告です。1歳の28例を最多とし1歳から2歳に多く報告があります。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数21件（前月比0.5、前年同月比0.2）です。昨年からの低水準が続いています。天草7件（定点あたり1.75）、水俣3件（定点あたり1.50）に多いようです。少数ですが各年齢から報告があります。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数795件（前月比0.5、前年同月比1.2）と3月以降高めの報告でしたが、6月をピークに減少しました。菊池250件（定点あたり50.00）が特に多く、次いで御船68件（同22.67）、有明94件（同18.80）に多いようです。少ないのは、水俣2件（同1.00）、阿蘇5件（同2.50）です。1歳と2歳で三桁の報告があります。
5. 水痘 : 報告数11件（前月比0.5、前年同月比0.3）と、令和3年の8月以降は低水準の報告ではありますが、報告なしの月はありません。菊池5件（定点あたり1.00）、宇城2件（同0.50）、熊本4件（同0.25）から報告されています。幅の広い年齢での流行です。報告数は減少していますが、2014年10月から定期接種になっていますので、9歳以下は接種していると考えますと、この年齢での報告数がまだ続いていますので予防接種再推奨検討が必要でしょう。前記三地区以外からは報告はありませんでした。
6. 手足口病 : 報告数263件（前月比2.5、前年同月比0.3）と、一昨年の推移に近く昨年のような流行はないようです。特に多いのは、菊池69件（定点あたり13.80）です。続いて御船29件（同9.67）、水俣18件（同9.00）、人吉24件（同8.00）と続きます。山鹿、阿蘇からの報告はありませんが、八代を除き県下から二桁の報告があります。1歳～2歳を中心としています。他の年齢でも報告は多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 菊池から1歳1件の報告がありました。昨年から引き続き流行はないようです。
8. 突発性発疹 : 111件（前月比0.6、前年同月比0.7）となっていますが、例年とあまり変わらない推移と考えます。菊池30件（定点あたり6.00）、水俣6件（同3.00）に多いようです。阿蘇からの報告はありませんでしたが県下より報告があります。
9. ヘルパンギーナ : 報告数47件（前月比2.1、前年同月比0.8）で、昨年同様に立ち上がりはないようです。天草20件（定点あたり5.00）以外からの報告は少数です。

10. 流行性耳下腺炎 : 報告数4件（前月比0.7、前年同月比0.3）と、流行の少ない状況が続いています。菊池からの4件（定点当たり0.80）のみの報告でした。5歳以上からの報告です。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数32件（前月比2.7、前年同月比1.5）と増加しています。熊本31件、有明1件の報告です。年齢別では30～49歳、60～69歳に多発していますが、乳幼児層にも発生していますので注意が必要です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :
報告数58件（前月比0.6、前年同月比0.6）でした。男女別は、男性38件、女20件でした。年齢別では、男女とも20代をピーク（男19例、女性8例）に男性は10代後半から60代前半まで、女性は10代後半から50代前半に認めました。地区別は、熊本市42件、次いで御船で女性7件、宇城で男性のみ4件、菊池で女性のみ3件、有明で男女各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :
報告数16件（前月比0.8、前年同月比0.7）でした。男女別は、男性11件、女性5件でした。年齢別では、男性は20代から60代まで、女性は20代から70歳以上まで認めました。地区別は、熊本で男性10件、女性2件、八代で女性のみ2件、菊池で女性のみ1件、宇城で男性のみ1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :
報告数は5件（前月比0.3、前年同月比0.7）でした。男性4件、女性1件でした。年齢別では、男性は30代を除き、20代から60代まで各1件、女性は20代に1件でした。地区別は、全件、熊本市でした。
4. 淋菌感染症 :
報告数は28件（前月比1.3、前年同月比0.8）でした。全件男性のみで年齢別では20代をピーク（12例）に10代後半から50代後半まで認めました。地区別は、熊本23件、八代、宇城が各2件、有明1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :
15件（前月比1.4、前年同月比1.2）定点当たり件数は阿蘇3.0と多くなっています。乳児例は1件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :
3件（前月比3.0、前年同月比1.5）乳児例は1件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :
3件（前月比3.0、前年同月比1.0）定点当たり件数は山鹿3.0です。昨年同様多めの発生です。注意が必要です。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 0件（前月比-、前年同月比-）
2. 無菌性髄膜炎： 0件（前月比-、前年同月比-）4ヶ月ぶりの0件です。
3. マイコプラズマ肺炎： 0件（前月比-、前年同月比-）
4. クラミジア肺炎： 0件（前月比-、前年同月比-）
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
1件（前月比-、前年同月比-）3ヶ月ぶりの報告です。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	14件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	1件
4類感染症	： レジオネラ症	12件
	日本紅斑熱	2件
5類感染症	： 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	播種性クリプトコックス症	1件
	梅毒	23件
	百日咳	1件
新型インフルエンザ等感染症	：	
	新型コロナウイルス感染症	74,885件